

安曇野ちひろ美術館 2024年夏の展覧会のご案内

2024年6月8日(土)～9月1日(日)

いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ
みんななかまよ

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。安曇野ちひろ美術館の2024年夏の展覧会詳細について、別紙の通りご案内申し上げます。ご高覧のうえ、ぜひご掲載・ご取材賜りますようお願い申し上げます。

プレス用作品画像データ 借用・誓約書

以下の内容をお読みいただき、必要事項をご記入のうえ、FAXにてお送りください。

本展覧会をご紹介いただける場合、リリース内に掲載の作品画像データをお貸し出しいたします。

貸出画像一覧をご覧ください、ご希望の画像にチェックを入れてください。企画書等とあわせてお送りいただければ幸いです。

掲載にあたっての注意事項

- 必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
- トリミングや、文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
- データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
- 掲載紙/誌をご送付ください。

読者・視聴者へのプレゼント用招待券のご提供

本展広報用として、作品図版掲載を条件に、1媒体につき、招待券を5組10名様分をご用意しています。

お届けは掲載紙/誌をご送付していただいてからとなりますので、あらかじめご了承ください。

ご所属

お名前

E-mail

ご住所 〒 -

TEL. FAX

掲載紙/誌名

月 日発行 号

画像受取希望日

月 日 まで

プレゼント用招待券

希望する ・ 希望しない

備考

■誓約

- ◎借用デジタルデータを上記目的以外に使用しないことを誓約します。
- ◎借用デジタルデータを無断で編集、改変しないことを誓約します。
- ◎借用デジタルデータを無断で転用しないことを誓約します。
- ◎借用デジタルデータを作業上、やむなくPC等にコピーする場合は、作業後、必ず、同データを削除することを誓約します。

上記事項に同意し、万が一、違約した場合は、然るべき損害賠償を負担します。

貸出画像一覧

※所蔵先の記載のない作品はちひろ美術館蔵

No.	作 品	check
1	三人姉妹 『母さんはおるす』(新日本出版社)より 1972年	
2	いわさきちひろ 風船と舞上がる少年 『あかいふうせん』(偕成社)より 1968年	
3	いわさきちひろ そつぽを向く少年 『となりにきたこ』(至光社)より 1970年	
4	いわさきちひろ そつぽを向く少女 『となりにきたこ』(至光社)より 1970年	
5	いわさきちひろ チューリップのなかのあかちゃん 1971年	
6	いわさきちひろ 買いものかごを持つ少女 1969年	
7	いわさきちひろ はなぐるま 1967年	
8	いわさきちひろ 夏草のパーティー 1972年	
9	plaplax 新作のイメージスケッチ 2024年	
表紙	「いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ みんななかまよ」メインビジュアル ※キャプション記載は不要です。	

借用者署名

印

画像削除予定日

年

月

日

展覧会ディレクター
近森基+小原藍(plapla)

企画協力
塩瀬隆之



2024年
6月8日(土)から
9月1日(日)まで



いわさきちひろ ぼつこ50ねん
こどものみなさまへ

みんななかまよ



安曇野ちひろ美術館

いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ

いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ
展覧会スケジュール

あ・そ・ぼ

2024年3月1日(金)～6月2日(日) 安曇野ちひろ美術館
6月22日(土)～10月6日(日) ちひろ美術館・東京

みんな なかまよ

6月8日(土)～9月1日(日) 安曇野ちひろ美術館
10月12日(土)～2025年1月31日(金) ちひろ美術館・東京

あれこれいのち

3月1日(金)～6月16日(日) ちひろ美術館・東京
9月7日(土)～12月1日(日) 安曇野ちひろ美術館

展覧会特設サイト

<https://chihiro.jp/2024kodomom>

ちひろから、いまのこどもと、 かつてのこどものみなさまへ――

2024年はいわさきちひろの没後50年。

半世紀のときを超えて、ちひろの絵が語りかけてくるものとは……？

「あそび」「平和」「自然」の3つのテーマから、

現代科学の視点も交えて、ちひろの絵を読み解きます。

子どもも大人も見ただけでなく参加したくなる、

今までにないちひろの展覧会です。

いわさきちひろ (1918～1974)

福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。第二次世界大戦後、紙芝居や教科書、絵雑誌、絵本など子どもの本を中心に画家として活躍。生涯にわたって子どもや花を描き続けた。1974年没、享年55。現存する作品は約9600点。



展覧会ディレクター

近森基+小原藍(plaplaX)

インタラクティブな作品制作を軸に、展覧会の展示構成、空間演出、映像コンテンツの企画制作など幅広く活動する。さまざまな手法やメディアを使って、創造的な学びや発見のある体験づくりに取り組む。2018年、「いわさきちひろ生誕100年『Life展』あそび plaplaX」をちひろ美術館で開催。



無垢な子どもたち、美しい自然、平和への願い。

これらは、ちひろさんが生涯を通して描いたテーマです。

没後50年にあたる1年間、改めてこのテーマと向き合おうとしたとき、<科学の目>を通してみることを考えました。とはいえ難しい知識や情報を駆使するわけではありませぬ。目の前のものの“ありのまま”をよく見て受け止め、そこから出発する。科学の目は、特別な人が難しいことを考えるためのものではなく、だれもが見慣れた風景を、新たな発見にあふれた豊かな世界に変化させるまなざしだと思ったのです。本来子どもたちは、そんな風に見世界を見つめているかもしれません。

会場で作品を見たり触れたり、体を動かしたり。子どもも大人も「わあ！これはなんだ？」とわいわいっしょになって進んでいく。そんな展覧会のあり方を目指しました。

「みんな なかまよ」展企画協力

塩瀬隆之(京都大学准教授/システム工学、インクルーシブデザイン)

日本科学未来館ロボット展リニューアルで問いの監修、徳島県立博物館リニューアルでインクルーシブデザインの観点から監修するなど、多様な人を深い学びに誘う「問い」のデザインを探究し続けている。



「平和のはんたい」を考えるとしたら、みなさんはどんなことばを思い浮かべますか。もし「戦争」や「争い」といったことばを使わないとしたら、どんなことばを頼りにしますか。いわさきちひろにとって、心を痛めたであろう戦争について直接扱った作品は多くはなく、それ以上にただ子どもを描き続けたのです。

「子どもは、そのあどけない瞳やくちびるやその心までが、世界じゅうみんなおなじ」。子どもの絵本を描いてきたちひろならではのこの視点こそ、本企画で平和と向き合う拠り所です。何か人生のかなしいときや、絶望的になったときに、その絵本のやさしい世界をちょっとでも思いだしてほしいというちひろの声、平和に向き合うわたしたちの力になると信じて。

※インクルーシブデザインとは、障害のある人や高齢者など特定のニーズをもった人々を、製品や公共空間のデザインなどに巻き込んでいくデザイン手法です。多様な人々が抱える課題を包括的に解決するには、実は特定の人が抱えるニーズを根源的に探究することがアイデアに結実する合理的な方法です。

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773(業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail: apublicity@chihiro.or.jp

いわさきちひろ ぼつご50ねん
こどものみなさまへ
みんななかまよ

2024年6月8日(土)～9月1日(日)

安曇野ちひろ美術館

主催：ちひろ美術館
展覧会ディレクター：近森基+小原藍(plaplax)
企画協力：塩瀬隆之
協力：谷川俊太郎・講談社
後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、信濃毎日新聞社、市民タイムス、abn長野朝日放送、長野エフエム放送株式会社



みんなで かんがえる
みんなの へいわ ——

1 三人姉妹 「母さんはおるす」(新日本出版社)より 1972年

「みんな仲間よ」私は自分の心にいきかせて、なつかしい、やさしい、人の心のふる里をさがします。絵本の中にそれがちゃんとしまっているのです」

いわさきちひろは、絵本づくりに重ねてこんなことばを残しています。彼女の絵本には平和をつくるための秘密がかくされているのかもしれませんが。ちひろの絵やことばを通して、ひとりひとりが平和を見つめれば、たくさんの考えがうかんでくるでしょう。

本展では、ちひろの絵を起点として、子どもから大人まであらゆる人が、ひとりひとりの個性を尊重し、ともに平和を築いていくための手がかりを探します。

展覧会の見どころ

平和を考えるたくさんの問い

ふたりの子どもが出会い、葛藤を越え、心を通わすまでの過程を描いた絵本『となりにきたこ』には平和をつくるまなざしがあります。塩瀬隆之氏がちひろの絵本をテーマに平和のための問いをつくります。そこに答えはありません。ひとそれぞれの考えがうかびあがってくるでしょう。

ちひろ×谷川俊太郎の絵本『ひとりひとり』をてがかりに

ひとりひとり 簡単にふたりにならない

ひとりひとり だから手がつなげる ……谷川俊太郎 「ひとりひとり」より

わたしたちが互いの違いを認め、ともに心豊かにくらし、平和をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか？
ちひろの絵と響き合う谷川俊太郎の詩「ひとりひとり」を起点に考えます。

ともに楽しむ

展示室で、絵を見るだけでなく、みんなでいっしょに色や線や音を出してみましょう。plaplaxによるインタラクティブな作品では、みんなで合唱や合奏のようにセッションをして、ちひろの絵の世界をともに楽しむことができます。



2 いわさきちひろ 風船と舞い上がる少年
『あかいふうせん』（偕成社）より 1968年



5 いわさきちひろ チューリップのなかのあかちゃん
1971年



3 いわさきちひろ そっぽを向く少年
『となりにきたこ』（至光社）より
1970年



4 いわさきちひろ そっぽを向く少女
『となりにきたこ』（至光社）より
1970年



6 いわさきちひろ 買いかごを持つ少女 1969年



7 いわさきちひろ はなぐるま 1967年



8 いわさきちひろ 夏草のパーティー 1972年



9 plaplax 新作のイメージスケッチ 2024年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。

「みんななかまよ」展関連イベント

近森基(plaplx)×塩瀬隆之による
オープニングギャラリートーク

日時：6月8日(土) 10:30～11:30

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名(先着) 申し込み：不要

開催中の展覧会「みんななかまよ」の展覧会ディレクター近森基(plaplx)と企画協力者の塩瀬隆之(京都大学准教授)による、スペシャルなギャラリートークです。

親子で楽しむギャラリートーク

日時：7月7日(日) 11:00～12:00

参加費：無料(入館料別) / 定員：親子10組

対象：小学生と保護者

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて)

開催中の展覧会の作品鑑賞ツアーを親子でいっしょに楽しみましょう。

ギャラリートーク

毎月第3土曜日 14:00～14:30

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名(先着) / 申し込み：不要

開催中の展覧会の見どころを学芸員がわかりやすく解説します。

そのほかのイベント

夜のミュージアム

日時：8月17日(土) 9:00～20:00

開館時間を延長して20時まで開館します。夕暮れどきからライトアップされた幻想的な夜の美術館(設計：内藤廣)で、ゆったりとした時間をお楽しみください。ちょっとこわいおはなしの会や、安曇野ちひろ公園で「トットちゃんの肝だめし」も開催します。この日、浴衣でご来館の方には、絵本カフェのワンドリンクチケットorショップ10% OFFチケットをプレゼントします(カフェは、19:00閉店)。

絵本のじかん

毎月第1土曜日 11:30～12:00

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名(先着) / 申し込み：不要

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせを行います。

中学生ボランティアが
この夏も活動します

地元松川村立松川中学校のボランティアが夏休み期間中に、展覧会のサポートや絵本の読み聞かせを行います。活動内容は、公式サイトをご覧ください。



安曇野ちひろ公園 イベント

おでかけホリデー

5・6・8・9・10月の毎月第4土曜日 / 場所：安曇野ちひろ公園

調理体験や火おこし体験、野菜の収穫におさんぽ会やマルシェなどを開催します。

夏のイベント

7月27日(土) トットちゃんの夏祭り

8月17日(土) トットちゃんの肝だめし

※安曇野ちひろ公園：TEL.0261-85-8822 最新情報：chihiro-park.org

展覧会基本情報

展覧会名	いわさきちひろ ぼつご 50ねん こどものみなさまへ みんななかまよ ※ちひろ美術館コレクション展も同時開催します。
会期	2024年6月8日(土)～9月1日(日) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10:00～17:00 ※8月は9:00～17:00 ○休館日＝水曜日(祝休日は開館、翌平日休館) ※8月は無休
入館料	大人1200円 / 18歳以下・高校生以下無料 団体(有料入館者15名以上)、65歳以上、学生の方、18歳以下の子どもに同伴する保護者(子ども1名につき2名まで)は900円 / 障がい者手帳ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料 / 年間パスポート3000円
交通	○電車の場合＝JR大糸線信濃松川駅より約2.5km (タクシー5分、レンタサイクル15分、徒歩30分) ○車の場合＝長野自動車道安曇野I.C.より約30分

そのほかのイベント

ちいさなおはなしの会

日時：6月16日(日) 11:00～

参加費：無料(入館料別)

定員：20名(先着)

申し込み：不要

絵本カフェにて絵本の読み聞かせを行います。



ちひろ忌

日時：8月8日(木) 9:00～17:00

2024年8月8日、いわさきちひろ(1918～1974)がこの世を去って、50年目の夏を迎えます。当日は、ちひろが生涯願い続けた世界中の子どもたちのしあわせと平和への思いをご来館のみなさまと分かち合う一日にします。この日ご来館の方に、ちひろのことばカードを差し上げます。

ちひろ忌 松本猛ギャラリートーク

日時：8月8日(木) 14:00～14:30

参加費：無料(入館料別)

定員：20名(先着) / 申し込み：不要

ちひろのひとり息子である松本猛(ちひろ美術館・常任顧問)が、展覧会の見どころや母・ちひろの思い出を話します。

いわさきちひろ
チューリップと
あかちゃん
1971年

*最新のイベント情報は公式サイトでご案内しています。

※イベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください、お電話でお問い合わせください。